

5/6 (木) の発表

はじめよう、つづけよう。

「新北海道スタイル」



～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～

新北海道スタイル

報道発表資料の配付日時

5/6 (木)

15時00分

発表項目 (行事名)	腸管出血性大腸菌感染症の発生について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施場所)	発表者	
	月 日 () 時 分～	発表場所	
概 要	<p>○詳細については別紙のとおり</p> <p>◆速報 (腸管出血性大腸菌感染症 (3類感染症) の集団発生 (疑い) について)</p> <p>別紙1 釧路保健所</p> <p>◆週報 (腸管出血性大腸菌感染症 (3類感染症) の発生について)</p> <p>別紙2 釧路保健所</p>		
参 考			

報道 (取材) に当たっての お 願 い	<p>本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。</p> <p>つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配布	(場所)	
	同時レク	釧路保健所	

担 当 (連絡先)	保健福祉部感染症対策局感染症対策課感染症対策係 (担当: 山下)		
	電話	(代 表)	011-231-4111 (内線25-506)
		(ダイヤルイン)	011-204-5253

腸管出血性大腸菌感染症集団感染（疑い）の発生について（速報）

別紙1

令和3年(2021年)5月6日(木) 15:00

北海道保健福祉部感染症対策局感染症対策課

TEL: 011-231-4111 (内線: 25-506)

FAX: 011-232-3719

令和3年(2021年)5月5日(水)、釧路保健所管内の保育所において、腸管出血性大腸菌感染症（O26、ペロ毒素産生性）の集団感染（疑い）を確認しましたのでお知らせします。

記

1 探知

令和3年(2021年)4月26日(月)に、釧路保健所における検査の結果、腸管出血性大腸菌感染症（O26、ペロ毒素産生性）の患者が確認された。

2 発生の概要

釧路保健所管内の保育所の園児12名が、4月19日(月)から5月2日(日)にかけて、下痢、発熱、腹痛などの症状を呈し、うち12名が医療機関を受診し、治療を受けた。(うち1名が入院した。)

3 現在の症状

5月6日(木)現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。
また、入院していた者は、回復し、既に退院している。

4 経過

4月19日(月)～5月2日(日)
4月26日(月)～5月5日(水)

下痢、発熱、腹痛などの有症者発生
保健所において、職員12名及び園児34名の便を検査した結果、園児12名から腸管出血性大腸菌（O26、ペロ毒素産生性）を確認

5 感染経路

現在調査中

6 対応

- ・当該保育所に対し、園児及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び消毒等の清潔保持、感染防止対策について指導
- ・家族等の健康調査及び便検査
- ・患者及び家族等の喫食調査
- ・家庭等における手洗いの励行及び消毒等の清潔保持の指導

7 その他

この件については、本日15時00分、釧路保健所においても、資料配付を行っています。
報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

腸管出血性大腸菌感染症とは

概要：ペロ毒素を産生する大腸菌によって引き起こされる感染症であり、下痢、激しい腹痛、血便、発熱等が主な症状である。

また、病原体を保有していても症状がない場合もある。(無症状病原体保有者)

感染経路：汚染された食品や、感染者の便が口に入ることによって感染する。(経口感染)

分類：感染症法では三類感染症に定められている。

潜伏期間：3～5日が多いが、1週間以上の場合もある。

予防策等：手洗いの徹底による二次感染の防止、食品の十分な加熱等。

【参考】腸管出血性大腸菌感染症の道内における発生状況(2021年)

5月6日(木)時点

区分/O抗原型	1	4	8	26	55	86	91	103	111	121	124	125	128	145	146	157	166	不明	合計
患者				13	1									1		5			20
無症状病原体保有者			1	3												3		6	13
計			1	16	1									1		8		6	33

(単位：人)

※ 札幌市、旭川市、函館市、小樽市分を含む

※ 全道の状況については、北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。

(<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>)

腸管出血性大腸菌感染症の発生について（週報）

別紙2

令和3年（2021年）5月6日（木）15:00

北海道保健福祉部感染症対策局感染症対策課
TEL：011-231-4111（内線：25-506）
FAX：011-232-3719

令和3年（2021年）第17週（4月26日（月）～5月2日（日））に、釧路保健所管内で腸管出血性大腸菌感染症（O26，ペロ毒素産生性）が発生したのでお知らせします。

記

1 発生の概要

	保健所	区分	性別等	発症日及び 主な症状	受診日	保健所 確認日	現在の状況	備考
①	釧路	無症状 病原体 保有者	女性 (30歳代)	—	—	4月26日 (月)	—	4月27日 (火)公表 の幼児(女 性)の家族
②	釧路	患者	女性 (30歳代)	4月25日（日） 下痢・腹痛	4月30日 (金)	4月30日 (金)	回復	5月6日 (木)公表 の幼児(女 性)の家 族

2 対応

- ・家族等の健康調査及び便検査
- ・患者及び家族等の喫食調査
- ・家庭等における手洗いの励行及び消毒等の清潔保持の指導

3 その他

1に関する前回までの公表状況

	区分	性別等	現在の症状	患者確認日	公表日
①	患者（O26、第16週確認）	幼児（女性）	回復	4月22日（木）	4月27日（火）
②	患者（O26、第17週確認）	幼児（女性）	回復	4月27日（火）	5月6日（木）

4 その他

この件については、本日15時00分、釧路保健所においても資料配付を行っています。
<報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段の御配慮をお願いします。>

腸管出血性大腸菌感染症とは

概要：ペロ毒素を産生する大腸菌によって引き起こされる感染症であり、下痢、激しい腹痛、血便、発熱等が主な症状である。

また、病原体を保有していても症状がない場合もある。（無症状病原体保有者）

感染経路：汚染された食品や、感染者の便が口に入ること感染する。（経口感染）

分類：感染症法では三類感染症に定められている。

潜伏期間：3～5日が多いが、1週間以上の場合もある。

予防策等：手洗いの徹底による二次感染の防止、食品の十分な加熱等。

【参考】腸管出血性大腸菌感染症の道内における発生状況（2021年） 5月6日（木）時点

区分/O抗原型	1	4	8	26	55	86	91	103	111	121	124	125	128	145	146	157	166	不明	合計
患者				13	1									1		5			20
無症状病原体保有者			1	3												3		6	13
計			1	16	1									1		8		6	33

（単位：人）

※ 札幌市、旭川市、函館市、小樽市分を含む

※ 全道の状況については、北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。

(<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>)